

やまこし

山古志支所だより

特別号

2017.10.27 発行



追悼の想い

中越大震災から13年となる10月23日、山古志体育館で追悼式が執り行われました。

山古志体育館での式典の後、全国からの支援に対する「感謝」、「復興」への願いを込めて、バルーンリリースが行われ、追悼と明るい未来を祈念して3発の花火「白菊」が打ち上げられました。

■編集・発行

長岡市山古志支所地域振興課地域振興・防災係 〒947-0204 長岡市山古志竹沢乙 461
電話：0258-59-2328 FAX：0258-59-2331 Eメール：ymks-chiiki@city.nagaoka.lg.jp
支所だよりは長岡市ホームページでご覧いただけます。



▲山古志小・中学校の児童・生徒による「歌のメッセージ」



◀希望の鐘を合図に黙とう。



▲長島村長を偲び、献花台が設けられました。



▲東洋大生ボランティアと地域住民による「復興の灯り」点火



▲完成した「復興の灯り」

幸子田で脱穀（10月12日）

小林幸子さんと地域住民や山古志小の児童が、幸子田で今秋収穫した稲の脱穀作業を行いました。

幸子田の前で長島村長の死を悼んで黙とう捧げた後、2日前に刈り取った稲を参加者が運び、受け取った幸子さんが脱穀を行いました。作業の後には、地元のお母さん方から豚汁とおにぎりが参加者に振る舞われおいしく頂きました。



マリの看板 お披露目会（10月23日）

中越大震災後に3匹の子犬を生み、余震の続く山古志の地で生き抜き、映画等で「マリと子犬の物語」のモデルとなったマリが昨年6月に亡くなりました。

全国の人々に勇気と希望を与えてくれた母犬「マリ」を惜しんで製作された看板のお披露目会が、このたび故郷の梶金集落で約50名の参加を得て行われました。

参加者は、小雨の降りしきる中、マリへの想いを書き込んだメッセージボードを設置しました。



錦鯉県魚・市魚認定記念長岡市錦鯉品評会（10月21日）

長岡市錦鯉養殖組合主催の第64回長岡市錦鯉品評会が山古志支所前駐車場で行われ、市内で生産された錦鯉がその美しさを競いました。全体総合優勝はベルギーオーナー、ハンス リップスさんの紅白（生産者：丸堂養鯉場）が受賞しました。会場には県内外の愛好家のほか外国人バイヤーも訪れ、優雅に泳ぐ「県魚・市魚」錦鯉の美しさに見入っていました。

品評会の主な結果は以下のとおりです。（総出品数 484 点）

賞名	品種等	受賞者（生産者）	支部名
全体総合優勝	第75超部 紅白	Hans Lips（丸堂養鯉場）	ベルギー
若鯉総合優勝	第45部 銀鱗紅白	坂牧養鯉場	長岡
桜大賞（成魚賞）	第75部 浅黄	丸誠養鯉場	長岡
桜大賞（幼魚賞）	第40部 銀鱗紅白	坂牧養鯉場	長岡
立鯉成魚賞	第75部 大正三色	かんの養鯉場	長岡
立鯉幼魚賞	第40部 五色	Christian Winterroth（弥源治養鯉場）	ドイツ
海外出品者特別賞	第55部 紅白	Kyle Jones（新太郎養鯉場）	イギリス
	第75部 昭和三色	Chieni Lee（小田養鯉場）	アメリカ
	第75超部 紅白	Raymond O'Tooe（弥源治養鯉場）	イギリス
	第75超部 紅白	ELNA koi（丸庄養鯉園）	ベルギー
	第75超部 大正三色	Dominika Walus（丸堂養鯉場）	ベルギー
第15部優勝	大正三色	丸庄養鯉園	長岡
第20部優勝	銀鱗紅白	坂牧養鯉場	長岡
第25部優勝	銀鱗昭和三色	越路養鯉場	長岡
第30部優勝	銀鱗昭和三色	坂牧養鯉場	長岡
第35部優勝	紅輝黒竜	岩下養鯉場	長岡
第40部優勝	昭和三色	弥五郎養鯉場	長岡
第45部優勝	五色	David Lui（かんの養鯉場）	香港
第55部優勝	大正三色	坂牧養鯉場	長岡
第65部優勝	五色	Mark Corser（かんの養鯉場）	長岡
第75部優勝	昭和三色	丸庄養鯉園	長岡
第75超部優勝	昭和三色	周 団章（野上養鯉場）	中国

